

平成27年度 日本気象学会中部支部研究会 講演プログラム

11月24日(火)

時間帯	順	講演者	タイトル	所属	共著者
13:00		事務局	開会の辞		
13:00-13:03		立花義裕	開会の挨拶		
13:03-13:05		事務局	連絡		
13:05-13:25	1	西尾伊三男	数日先までの「警報級の現象になる可能性」の予測について	名古屋地方気象台	
13:25-13:45	2	澤井宏佑	タイムラプス動画を用いた動的観天望気	三重大学生物資源学部	立花義裕、小松謙介
13:45-14:05	3	田中隆一	エクマン層と高・低気圧	日本気象学会	
			休憩		
14:15-14:35	4	豊田将也	台風Haiyanとそれに伴う高潮に関する数値的研究	岐阜大学大学院工学研究科	吉野純、小林智尚
14:35-14:55	5	金井惇平	日本の南海上で急激に衰弱した1997年台風13号～遠方からの水蒸気流入が及ぼす影響～	三重大学生物資源学部	立花義裕、小寺邦彦、山崎孝治
14:55-15:15	6	堀口桃子	2011年台風6号がUターンした理由とは	三重大学大学院生物資源学研究科	立花義裕、山崎孝治、小寺邦彦、中田晃志
			休憩		
15:25-15:45	7	荒井建伍	北陸地域における冬季降雪パターンの時・空間変動に関する研究	富山大学理学部	安永数明
15:45-16:05	8	友近全志	初冬期の北陸地域における降水量増加傾向について	富山大学理学部	安永数明
16:05-16:25	9	草刈智一	治水計画のための年最大日降水量の非常頻度分析～北海道・東北地方への適用～	元信州大学大学院	寒川典昭、中屋眞司、山崎基弘
			休憩		
16:35-16:55	10	井上裕介	北半球にひそむ南極振動の影～成層圏は両半球を繋ぐ航路～	三重大学生物資源学部	立花義裕、小寺邦彦、山崎孝治、緒方香都
16:55-17:15	11	八木雅文	南大洋上における大気海洋経年変動とその要因	東海大学海洋学部	轡田邦夫、永延幹男
17:15-17:35	12	垣内 陽	北太平洋亜熱帯循環系の海洋構造—異なる海上風の駆動によって再現されたモデルの比較検証—	東海大学海洋学部	轡田邦夫、田嶋莉奈、笹井義一
17:35-17:55	13	亀村 光	冬季黒潮・黒潮続流域における大気海洋相互作用—海上風における低気圧性渦の発生発達機構—	東海大学海洋学部	轡田邦夫
			懇親会		

11月25日(水)

時間帯	順	講演者	タイトル	所属	共著者
09:30-09:50	14	小端宏幸	表皮水温に関する研究	東海大学海洋学部	久保田雅久
09:50-10:10	15	日原 勉	北太平洋における海面水温の季節変動メカニズム	東海大学大学院地球環境科学研究科	久保田雅久
10:10-10:30	16	坂本理沙	MJO対流消滅時における大気海洋相互作用の観測的研究	東海大学大学院海洋学研究科	久保田雅久
			休憩		
10:45-11:05	17	上村拓也	寒冷渦に関連した500hPa高度の予測誤差変動:日本付近における2014年春季の例	愛知教育大学理科教育講座	田口和正
11:05-11:25	18	川崎健太	オホーツク海が無ければ梅雨は弱まる!?	三重大学大学院生物資源学研究科	立花義裕、中村 哲、山崎孝治、小寺邦彦
11:25-11:45	19	橋本佳貴	富山における熱的局地循環	富山大学理学部	安永数明
11:45-12:05	20	吉川契子	高等学校地学授業における気象台との連携	静岡県立清水西高等学校	
12:05-12:15		立花義裕	理事からの講評		

注意 講演1件の割当て時間は20分です。各講演者の方は講演時間15分、質疑時間5分を目安とした講演をお願いいたします。